

包 括 的 公 表

平成 20 年 10 月～12 に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
病棟	キザミ食を提供すべき患者に普通食が提供され、一時的に食物を詰ませた。	患者の食事摂取状態を十分に把握する。
病棟	水薬をシリンジ（注射器）で準備し、針を付けたまま患者へ渡した。患者が内服する際、針が唇に触れたが出血などはなかった。	水薬の与薬方法を改善周知した。
病棟	入院時に外来処方薬のうち 1 種類の処方をし忘れたため、症状が出現したが適切な処置を行い回復した。	外来処方と入院処方の確認を徹底した。
外来	取扱説明書手順の理解不足で対極板を使用したため、熱傷を来たした。	取扱説明の使用方法を指導し、マニュアルを改訂した。
検査室	検査後、患者の組織検体を紛失し再度検査が必要になった。	検体取扱いの手順を周知するように指導した。
手術室	手術時、覆布を固定する布鉗子で皮膚をつまんだが治療を要することなく経過した。	布鉗子を用いる際、皮膚から離れているかを複数間で確認する。